

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報 告 者	森田 敏湖	市確認欄	
専門部会名	第 1 回	ケアマネジメント部会	
日 時	令和 7 年 5 月 27 日（火） 13 時 30 分～15 時 00 分		
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出 席 者	部会員 6 名	市職員 1 名	事務局 8 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り・ なし		
次 第	1 部会員自己紹介 2 今年度の部会の進め方について 3 全体会の報告 4 議題 5 本日のまとめ、次回の検討課題について		
報告・検討 の内容	1 部会員自己紹介（武末） ・令和 7 年度 変更があった事務局、市職員、部会長、副部会長の順に自己紹介。 2 今年度の部会の進め方について（日岡） ・4 つの部会が抱える課題の共有と、議論の前進の第 1 歩とすべく、全体会を発足させ、第 1 回目を令和 7 年 4 月 22 日に開催したことを報告。専門部会については、各部会で協議すべき内容に応じて回数を決定したことを報告。 ・ケアマネジメント部会の協議内容と回数 ① 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの啓発 ② 地域生活支援拠点等の機能の充実 ③ 家族支援について 以上を含めた合計 4 回で協議していくことを報告。 ・部会の回数が減ったことにより、開催日までの間が空くため、その間に協議すべき点ができた場合には、電子連絡帳ヘルピーネットやメールを活用して、皆様のご意見を伺っていききたいことを説明。 ・未登録の事業者への登録を促進し、将来的にヘルピーネットを利用して、支援対象者の情報共有ができるようになることを目標にしていきたいことを説明。（櫻木） 3 全体会の報告（副部会長） ・各部会の部会長・副部会長と、事務局が集まり実施。意見交換で、意思決定支援や強度行動障害への支援、幼少期からの家族支援等、部会での課題はところどころつながっていることが確認できた。各部会に持ちか		

えり、今年度の部会の取り組みに取り入れていくこととなったことを報告。

4 議題

(1) 「にも包括ケアシステムの啓発」について（部会長）

- ・日進市役所ホームページに掲載している、「にっしんココロの支援ガイドブック」の閲覧数について報告。（渥美）
令和6年11月～令和7年5月27日までで56回。
- ・医療機関等の更新について、担当の割り振りと期日の確認。
後日、市の事務局より電子連絡帳ヘルピーネットを活用し、通知する。
- ・市民まつりで周知を行うか確認。

〈出された意見〉

- ・昨年は多くの人に配布し、冊子を知ってもらうことが目標であった。必要な人への配付や、どう周知するかを検討できるという。対象の方が参加される他のまつり（ポレポレ祭り、あゆみまつり）に出向き、必要な方に配布するのはどうか。
- ・市民まつり自体は、日進市役所地域福祉課や日進市社会福祉協議会がブースを出すため、そこに冊子を置くことは可能。
- ・精神科の対象とまだ認識していない人へ周知するには、どこに冊子を置いておくべきなのか協議できるという。
- ・市内産業医や企業内のメンタルチェックでひっかかった方に配布する方法もある。
- ・大学生は親元を離れて暮らしているかもしれないため、大学内に置いてもらう依頼はできるかもしれない。
- ・精神科には配布しているが、内科や外科等にはまだ配布できていない。

〈質疑応答〉

- Q. 在庫から配布するのか。
- A. 修正したものを配布する。
- Q. 市役所のラックに置けているのか。
- A. 今は置けていない。
- Q. すばるの活動は継続しているのか。
- A. 継続しているため、掲載について協議を行う。
- Q. 今年度の冊子の予算はいくらか。
- A. 予算自体はあるため、昨年度の部数は可能だが、切り欠きの有無等によって冊数は異なってくる。

(2) 「家族支援のあり方」について（部会長）

- ・昨年度から引き続き、家族支援のあり方について意見を伺う。

〈出された意見〉

- ・日進市子ども発達支援センターが保育園職員向けに、家族支援について研修会を開催している。家族、事業所、地域の園と連携し、統一した支援をすることで、本人が落ち着いて過ごせるとのことだった。また、今年度から愛知県で強度行動障害のコンサルテーションが始まり、幼少期からの間違った行動の積み重ねで行動が強化されていくため、幼少期からの支援が大事という話があった。

	・家族支援と意思決定支援は同じ枠で考えていいのではないか。 ・家族の障害受容も関わるため、ケアマネジメント部会のみで抱えるのではなく、全体会で話し合えるといい。 ・障害関係団体連絡協議会や手をつなぐ育成会に直接、ご意見をいただくか、事業所連携を進めるための支援者向けの講義を行うか、どちらかをできるといいのではないか。 ・当事者から意見を聞き、それを基に事業所に質問を投げかける方が聞きやすい。ニーズを集めプランを立てる流れがいいのではないか。 (3)「意思決定支援の充実」について(部会長) ・意思決定支援と家族支援は重なる部分があるため、(2)(3)を合わせて協議した。 5 本日のまとめ、次回の検討課題について(部会長) ・電子連絡帳ヘルピーネットやメールにて協議内容を共有し、意見を求める。 ・「にっしんココロの支援ガイドブック」の修正箇所を確認。 ・家族支援と意思決定支援について、方向性を決める。
提出書類	別添の通り
次回開催日時	令和7年7月22日(火)
次回会場	日進市障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 1 回	ケアマネジメント部会
	令和 7 年 5 月 27 日（火） 13 時 30 分 ～15 時 00 分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	
① 脇本 浩行（欠）	② 興梠 精視（欠）
③ 磯村 有美（欠）	④ 福岡 玲奈
⑤ 神谷 真里	⑥ 竹内 由美子
⑦ 滝川 智恵子	⑧ 小山 貴弘
⑨ 久保本 藍（欠）	⑩ 福田 有輝

（市職員）

① 大橋 志乃	
---------	--

（事務局）

① 藤田 綾子	② 櫻木 順子
③ 渥美 則親	④ 宇佐美 香津美
⑤ 日岡 由季枝	⑥ 武末 拓也
⑦ 森田 敏湖	⑧ 西岡 きくの